

日能研	5年							
	算数							
学習内容	夏期講習 数の性質（約数・倍数、分数）／平面図形／割合／文章題（平均、消去、仕事算）							
家庭学習ポイント	5年生の夏期講習は、これまで学習した全内容の総復習になります。具体的には約数や倍数、平面図形、そして割合、文章題となります。約数と倍数、分数に関しては、5年生の秋以降に学習する「比」の理解を大きく左右しますので、しっかり概念を理解しておくことが大切です。5月～6月に学んだ平面図形についても夏期講習で全て復習していくことになります。夏期講習での授業前に、その単元の育成テストがどうだったかなどを再確認し「夏期講習で身につけたいこと」を1回1回の授業について意識して臨むのもいい方法ですね。割合に関しては、ここまで小数や分数を使って計算してきましたが、比を学習すると整数での処理が可能になります。夏にしっかり理解し、秋からの比の学習に備えましょう。夏期講習の日程は18日間と、4年生の時と比べると3倍位のボリュームでになります。あらかじめ「空き日にやることごと」は考えているでしょうか？夏期講習がない日も有効に過ごしたいですね。							
課題の把握と解決策	チェック1	「○○でわっても…」と「○○をわっても…」を混同することはないですか？						チェック
	解決策	ちょっとした読み間違いで結果が全く「逆」になってしまいますね。注意しましょう						□
	チェック2	倍数の個数がわり算で計算できる理由を説明できますか？						チェック
	解決策	解法を覚えるだけでなく、自分なりに説明できるようにしておくことは大切ですね						□
	チェック3	「残りに対する割合」「全体に対する割合」を区別できていますか？						チェック
	解決策	割合の数字を「まる」や「四角」でくるんで区別しましょう						□
	チェック4	売買の仕組みを理解できていますか？						チェック
	解決策	「100円で買ってきたものを100円で売っても儲からないから利益をつける」と噛み砕きましょう						□
	チェック5	学校の宿題なども含めて計画的に学習は進んでいますか？						チェック
	解決策	日能研は日程に余裕があるので、うまく進めてお出かけや遊びの時間も確保しましょう						□
日能研	5年							
	国語							
学習内容	夏期講習 説明文 物語 随筆 論説文 詩歌 ＊語句を毎回学習							
家庭学習ポイント	日能研の夏期講習は、これまでの総復習になっており、説明文や物語文、随筆などさまざまな文種の読解の技術を復習していきます。具体的には、説明文、論説文であれば中心となる情報をさがす・部分どうしの前後のつながりをさがる・部分と全体のつながりをさがる・具体的な情報と抽象的な情報をさがるといったことであり、物語文であれば登場人物の心情を人物描写だけでなく、情景や場面展開などから推察する、といった技術です。ところが習ったときには納得していても、いざテストでの読解になると漫然と文章を読んでしまい、せっかく習ったことが実践に生かされていないお子さんが多くいます。ぜひこの夏は、読解の技術を積極的に使って問題を解くことを意識して学習していただければと思います。また、ここまで本格的な記述対策を行っていないお子さんは、毎回の記述のポイントをしっかりやりこんでおくと良いでしょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	因果関係を意識して物語文を読んでいますか？						チェック
	解決策	登場人物の言動には必ず根拠（＝考えや性格など）があります						□
	チェック2	登場人物の心情の変化を表す情景描写などを意識できていますか？						チェック
	解決策	「この場面の展開は何を表すのか」「この情景が表す主人公の心情は」と意識してみましょう						□
	チェック3	四字熟語やことわざ、慣用句をコツコツと覚える努力を続けていますか？						チェック
	解決策	夏休み中も、よい習慣は継続するようにしましょう						□
	チェック4	テストの直しは順調にできていますか？						チェック
	解決策	ためてしまわないように、返却されたらすぐにやっておきましょう						□
	チェック5	夏休みの空き時間にする復習について、計画どおり進んでいますか？						チェック
	解決策	お盆期間と8月下旬の使い方がポイントになりますね						□

日能研	5年							
	理科							
学習内容	夏期講習 種子のつくりと発芽／根・くき・葉のつくりと花のつくり／植物の働き／節足動物／せきつい動物／生物どうしのつながり／人体／太陽／星と星座／月／水溶液の性質／気体／物のとけ方／物体の運動／ばね／てこ							
家庭学習ポイント	夏期講習は、これまですべての総復習になります。今や「完全復習型」の講習会を行う大手塾は日能研だけであり、非常に助かるのですが、範囲が膨大になるため「こなすだけ」にならないように注意が必要です。それにはまず「夏期講習で特に身につけたいことはなにか」をはっきりさせて取り組むことが大切です。1学期に育成テストを見返して、講習会の次の理科の授業で扱う単元は自分にとってどのくらい重要なかを意識しておきましょう。1学期に今ひとつ理解が進まなかった単元なら、夏期講習の授業でなんとしてもモノにする、といった姿勢で取り組むことが必要です。7月をなんとなくこなして過ごしてしまった、という場合は、8月の学習内容につき、育成テストや授業用のノートで確認するようにしてみると効果的です。上記のように「今現在の自分の状況を知る」ということが、学習の優先順位をつける視点につながってきます。講習会で再度習ってもやはり今ひとつ理解できない、という単元があれば、そこは個別の学習サービスで解決するという考え方でもいいかもしれません。							
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習が始まるまでに2月～7月のテストを振り返りましたか？						チェック
	解決策	振り返りがまだなら、8月授業の単元だけでも振り返ってみましょう						□
	チェック2	夏期講習の学習が「こなすだけ」になっていると感じませんか？						チェック
	解決策	「次に習う単元は自分にとってどれくらい重要か」を意識してみましょう						□
	チェック3	植物は種子、葉と茎と根などを関連させて整理して覚えていますか？						チェック
	解決策	「単子葉植物＝すべて有胚乳種子」「双子葉植物＝大部分が無胚乳種子」を軸に整理しましょう						□
	チェック4	セキツイ動物の分類がすっきりと整理できていますか？						チェック
	解決策	「コウモリ＝飛ぶけど哺乳類」「ペンギン＝飛ばないけど鳥類」など間違いやすいものに注意を						□
	チェック5	天体の動きに関しては、自分で図を書いて考えていますか？						チェック
	解決策	「丸覚え」に走ると大変で、しかも点が取れない代表的な分野です。図を書いて考えましょう						□
日能研	5年							
	社会							
学習内容	夏期講習 地方別地理 九州・中国・四国・近畿・中部・関東・東北の自然／産業 地形図							
家庭学習ポイント	夏期講習は、地方別地理の総復習となります。夏休みまでに「苦手ポイント」をリストアップして臨むことができたでしょうか。間に合わなかった場合は、1回1回の授業の前で構わないので「次に習う○○地方について、自分はどれだけ理解していて、どれくらいわかっていないか」を育成テストの結果などから判断して授業に臨むといいでしょう。次の授業で自分が何を学ぶべきかを意識して臨むことができ、効果的です。また夏期講習が終わると、6年生になるまで地理の学習はありません。地理が苦手なお子さんの中には、ホッとしているお子さんがいるかも知れませんが、苦手なまま6年生を迎えてしまうと大変です。できるだけ夏期講習の学習で、苦手意識を払拭しましょう。そのためにも意識的に「今の自分に足りないところ」を分った上で社会の授業に臨むようにしてください。							
課題の把握と解決策	チェック1	夏期講習が始まるまでに2月～7月のテストを振り返りましたか？						チェック
	解決策	振り返りがまだなら、8月授業の単元だけでも振り返ってみましょう						□
	チェック2	日本の8つの地方それぞれの地形と自然環境について、説明できますか？						チェック
	解決策	位置（北or南・日本海側or太平洋側）、海流や地形などを関連させて記憶しましょう						□
	チェック3	日本の8つの地方それぞれの産業について、説明できますか？						チェック
	解決策	農業や工業、特産品なども地理的な要因や気候などによって決まる側面がありますね						□
	チェック4	知識をコツコツ積み上げる学習は続けていますか？						チェック
	解決策	この習慣は夏休み中も続けることをおすすめします						□
	チェック5	地形図の読み取りが正確にできていますか？						チェック
	解決策	おもな地図記号は確認しておきましょう。またおもな縮図の縮尺は25000分の1か50000分の1です						□